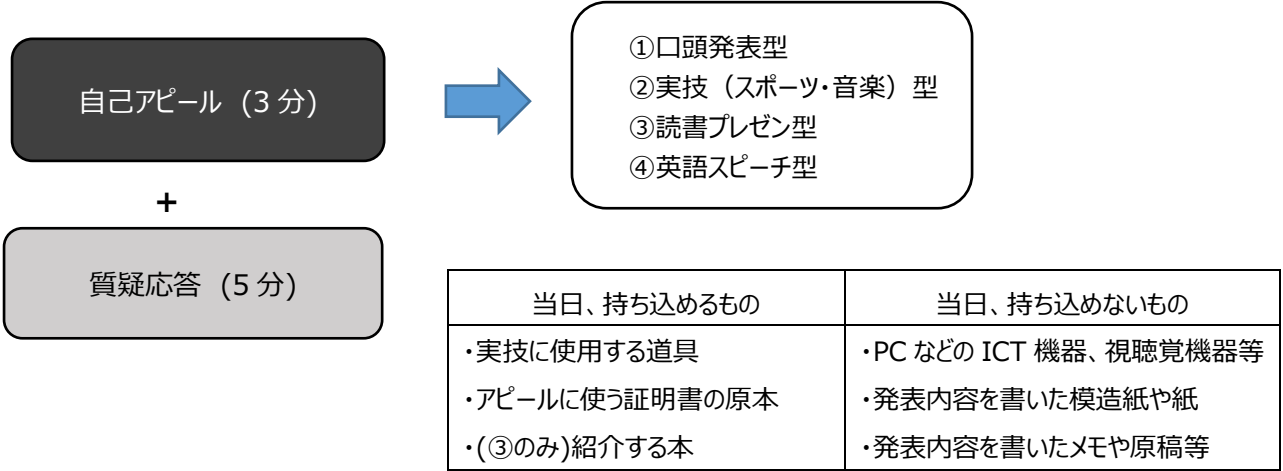


麗澤瑞浪中学校 自己アピール型入試ガイド

《自己アピール面接とは》

自分の特技や長所、体験から得たもの、そこから学んだことを面接官に対してアピールし、そのアピールの内容に基づく質疑応答を行う形の面接です。



《自己アピール面接の流れ》

〈事前準備〉

- ・受験者本人が記入した「自己アピール申請書」（P3の見本を参照）を出願時に提出してください。（12月25日まで）

〈当日〉

- ・まず3分間で自己アピールをしてもらいます。
- ・その後、5分程度の質疑応答の時間を設けるので、アピールした内容に対する面接官の質問に答えてください。

《自己アピール入試 評価のポイント》

- 自己アピール面接の目的は、受験者のプラス面を引き出すことです。アピールの内容をマイナス評価には使いません。
- それぞれの実績を見るためのものではありません。これまで打ち込んできたことの魅力や打ち込んできたもの、中学校生活や将来に対する思いを、与えられた条件下で、相手にどれだけ訴えられるかを見ます。

《自己アピールする内容について》

- ①口頭発表型：小学校時代の経験、これまで打ち込んできたものなどについて、口頭で説明をする。

〔発表テーマの例〕

- ・小学校時代の体験談と、その体験をどのような形で中学校生活や自分の将来に生かすかを述べる。
- ・これまで打ち込んできたものの魅力と中学校で取り組みたいこと、頑張りたいことについて発表する。
- ・社会や学校の抱える課題の指摘と、課題解決のためにじぶんができることなどの提案を行う。・・・など。

- ②実技型：スポーツや音楽などの実技を披露し、口頭でもアピールをする（スポーツの場合、会場は体育館を予定）。

〔発表形式の例〕

- ・アピールしたい実技の中から、特に相手に訴えたいところを選び、披露する。（体育館でできない実技は不可）
- ・取り組んでいるスポーツや音楽、活動の魅力について実技を交えながら伝える。・・・など。

③読書プレゼン型：自分の好きな本について紹介する。

〔発表テーマの例〕

- ・その本のどこが好きなのか、その本がなぜ好きなのか、お勧めのポイントはどこかを紹介する。
- ・本を通じた自分自身の考え方や行動の変化、成長について述べる。・・・など。

④英語スピーチ型：①～③に基づいた内容について、英語で発表する。

〔発表テーマの例〕 上記参照

- * 簡単な英語で質疑応答を行う場面がある。
- * 試験官は外国人教員と日本人教員の2名とする。
- * 英検など、英語の資格に関する証明書がある場合は予め提出する。

《自己アピール面接 Q&A》

Q1:自己アピール面接ではどのようなことをしますか。

自分の特技や長所、小学校時代に行ってきたことや体験など、自分の強みを面接官に伝えてもらいます。スポーツ(本校にその部活動が存在している必要はありません)や音楽、特技などの実技を通じて自分の強みを伝えてもらうことも可能です。

発表の準備が整ってから、3分の自己アピールタイムを設けますので、時間内で自由にアピールをしてください。その後、5分程度、発表の内容に基づく質疑応答を行い、自己アピール面接は終了です。

Q2:自己アピール面接では、どのようなことが評価されますか。

自己アピール面接で見たいのは、自分の好きなもの・打ち込んできたもの・興味のあることの魅力を、他人に伝える力です。

大会やコンクールなどで入賞の実績があればもちろん評価はしますが、この試験は実績を評価することが目的ではありません。自分が打ち込んできた活動を通じて何を学び、考えたか、そのことを他者に伝える力を見て、評価します。

Q3:自己アピール面接の準備・練習はどのようにすればよいですか。

自己アピール面接では、事前に「自己アピール申請書」を提出してもらいます。申請書には、

- ① 何をアピールしたいのか(発表の内容)
- ② どのようにアピールしたいのか(発表の方法)
- ③ どこを評価してほしいのか(評価してほしいところ)

を記入してもらいますので、①～③についてしっかり考えておいてください。(自己アピール申請書参照)

当日に向けては、アピールしたい内容が相手にしっかりと伝わるように、伝える内容をしっかり絞り込んで、順序良く伝えられるように準備をしておきましょう。

Q4:自己アピール面接はどのような会場で行われますか。

実技型の自己アピールのみ体育館で行います。その他の自己アピールは普通教室を使用します。

Q5:自己アピール面接では、どのようなものを面接会場に持ち込むことができますか。

実技型の場合は、その実技に用いる運動器具や楽器・楽譜を持ち込むことができます。ただしスポーツの場合、会場が体育館になりますので、室内用のシューズでできる範囲のこと、また体育館の床面や壁面を汚したり傷つけたりすることのない範囲での実技を披露してください(外履きやスパイクシューズを履いての実技、ゴルフなど床面や壁面を傷つける可能性のある球技の実技はできません)。

自己アピール申請書にアピールの内容や持ち込みを希望する物品を記入してもらいますので、実施が難しいものや持ち込みが不可のものが含まれていれば事前に連絡をします（事前の相談も受け付けます）。

読書プレゼン型の場合は、紹介したい本を持ち込むことができます。

その他、自分のアピールしたいことに関する証明書の実物等を持ち込むことができます。

逆に持ち込むことができないものは、パソコンやスマートフォンなどの ICT 機器・視聴覚機器、模造紙や紙などの発表資料、発表する内容を書いたメモ書きなどです。

Q6:自己アピール型で受験する受験生は、学科試験や個別面接試験を行いますか。

自己アピール型で受験する受験生も、自己アピール面接とは別に、学科試験（国・算 2 科目）と個別面接試験を実施します。

Q7: 自己アピールの内容が良くなければ不合格になりますか。また自己アピール型で受験する受験生は奨学金の対象となりますか。

自己アピール面接は出願者の良い面・プラスの面を引き出して評価するために実施しています。マイナス評価には用いませんので、自己アピールの内容によって不合格になることはありません。

また、自己アピール型で受験する受験生も奨学金判定の対象になります。ただし自己アピールの内容が奨学金判定に直接的な影響を与えることはありません。

《参考 自己アピール申請書》

* 以下は見本です。実物ではありません

自己アピール申請書 （令和5年度麗澤瑞浪中学校 1 期入試 自己アピール型出願者用）

* 欄には何も記入しないこと

ふりがな	
志願者氏名	

受験番号	*
------	---

あなた（志願者）がアピールしたい内容・形式について、それぞれの欄内の注意事項に従って記入しなさい。すべて志願者本人が自筆（鉛筆またはペン）すること。

なお、提出後の発表内容の変更、申請書に記入された内容の訂正はできません。

アピールの内容・形式	1：口頭発表 2：実技発表 3：読書プレゼン 4：英語スピーチ ※1～4の中から一つを選び、左の枠に数字を記入してください
発表の題名	※アピールする内容について、わかりやすく簡潔に説明した題名をつけてください
発表の内容	

	<p>※発表したい内容を説明してください。イラストを用いてもかまいません</p>
発表の方法	<p>※用いたい道具や発表の会場（普通教室または体育館）など、発表したい方法を説明してください。イラストを用いてもかまいません。</p>
評価してほしいところ ・ 質問してほしいところ	<p>※発表する内容において、評価してほしいところ、面接官に質問してほしいところについて、自由に記入してください。</p>

○その他の注意事項

- 書かれている文章やイラストの量が、直接合否に影響を与えることはありません。
- 申請書のそれぞれの項目については、欄内に収まるように記入してください。余白に記載をしたり、次に示す書類以外の資料を添付したりすることはできません。
- 発表したい内容の成果を客観的に証明する資料（通知表以外の成績表・合格証・証明証・賞状・新聞・パンフレットなど）のコピーを2部まで添付することができます。ただし、それらの資料のコピーはすべてサイズをA4版（片面）に揃えて、この申請書と一緒に提出してください。なお、書類の提出は任意ですので、全員が提出する必要はありません。
- 発表の時間はおよそ3分です。発表の内容を記した原稿、スマートフォンなどのICT機器、動画再生機器や音楽再生機器などの視聴覚機器を試験会場に持ち込むことはできませんが、発表時間の目安は発表者に伝わるようにします。